



行き止まりの町から南北交流の核に

岡山道の開通を機に、
風をテーマに進めたまちおこし

- ・行き止まりの町と言われた岡山県有漢(うかん)町は、平成9年3月の中国横断道開通を期に、ICのそばに「石の風ぐるま」を設置した「うかん常山公園」を開園。
- ・「石の風ぐるま」が風にまわる伸びやかな公園は、絶好の立ち寄りポイントとして好評。
- ・「有漢町」の名前も一気に知られるようになり、平成12年7月には「手づくり郷土賞」を受賞。
- ・毎年開かれる「風ぐるまフェスタ」では、鳥取境港の大漁太鼓、香川善通寺の龍神太鼓、土佐のよさこい鳴子踊りなどの南北地域の連携した芸能に約3万人が見物に。
- ・平成11年には「へその町」として熊本県鹿本町、高知県大正町と姉妹縁組みを結んでいる。
- ・平成10年10月には、高知県の企業と提携し、野菜のハイテク工場「夢ファーム有漢」を設立し、平成11年9月より本格的に操業開始、平成11年出荷額3,500万円、平成12年出荷予定額7,000万円。

● 風ぐるまフェスタ



● うかん常山公園の「石の風ぐるま」

